

# ごみ処理基本計画検討報告書

平成 13 年 6 月

社団法人 日本廃棄物コンサルタント協会  
技術部会 ごみ処理基本計画専門委員会

目 次

はじめに

専門委員名簿（最終）

第1章 多品目分別収集の計画論（東部地区担当）	1
1.1 多品目分別収集の実態	1
1.1.1 分別収集品目	1
1.1.2 排出方法及び収集運搬方法	12
1.1.3 中間処理方法	14
1.1.4 最終処分方法	19
1.2 分別収集実施前後での変化	21
1.2.1 ごみ量の変化	21
1.2.2 ごみ質の変化	25
1.2.3 収集運搬の変化	28
1.2.4 中間処理の変化	31
1.2.5 最終処分の変化	35
1.3 多品目分別収集の効果	37
1.3.1 ごみ減量効果	37
1.3.2 経済効果	47
1.4 多品目分別収集の課題と展望	49
1.4.1 課題	49
1.4.2 展望	50
第2章 計画のための計画論（西部地区担当）	51
2.1 施設計画のための計画論	51
2.1.1 施設計画の位置付け	51
2.1.2 中間処理施設計画	52
2.1.3 最終処分施設計画	57
2.1.4 資源化施設計画	68
2.2 基本計画のための計画論	78
2.2.1 ごみ処理に関する法体系	78
2.2.2 ごみ処理基本計画の法的位置付け	83
2.2.3 施設計画の位置付け	88

2.3	計画のための情報源	93
2.3.1	官公庁	94
2.3.2	関係法人・関係団体	94
2.3.3	学・協会	95
2.3.4	地方自治体・一部事務組合等	95
2.3.5	新聞、雑誌、書籍等	95
2.3.6	インターネット	99
第3章	品目別収集体系のケーススタディ（中部地区担当）	103
3.1	研究の目的	103
3.2	生ごみ処理方法について	104
3.2.1	生ごみ処理の現状	104
3.2.2	実施事例	114
3.2.3	総合評価（問題点と今後の課題）	137
3.2.4	ケーススタディ	141
3.2.5	今後の課題	146
3.3	繊維類（衣服）の処理方法について	149
3.3.1	調査の目的	149
3.3.2	調査の内容及びその方法	150
3.3.3	現況調査	151
3.3.4	事例集	177
3.3.5	将来に向けて	189
3.4	不定期に発生する都市内の廃棄物の処理	190
3.4.1	不定期に排出するごみ	190
3.4.2	剪定枝等の処理の現状	190
3.4.3	災害時の廃棄物処理の現状	198